

経営の効率化に向けた現状と課題

- 「労災病院の財政・収支」
「労働関係法人厚生年金基金の概要等」
- 「労災病院のガバナンス」

「労災病院の財政・収支」

現状と問題点・課題

現状と問題点

- 単年度収支の収益力が脆弱
 - ・ 平成22年度において、独立行政法人移行後、初の単年度黒字を計上
 - ・ 赤字病院の比率が高い
- 多額の繰越欠損金(平成22年度:384億円)の存在
- 厚生年金基金の運営の持続可能性
- 病院運営においては、無借金(資金借入・債券発行を行わず)
 - ・ 建替・設備投資は、相当程度の水準で推移



課題等

- 黒字経営を確立するための経営改革(収入対策・支出対策)
 - ・ 地域医療と政策医療のバランス
- 平成28年度までを目途に、繰越欠損金を解消(平成22年12月7日閣議決定)
- 給与、退職金等のあり方
- 国費に依存しない経営体制の確立
- 中長期的な投資のあり方

(参考) 労働関係法人厚生年金基金の概要

1 概要

- 所在地 東京都千代田区神田須田町1-2
- 設立日 昭和53年2月1日
- 設立目的 厚生年金保険法に基づき、基金加入員の老齢、死亡又は脱退について給付を行い、もって加入員及びその遺族の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とする。

- 加入団体 26団体
(雇用・能力開発機構、高齢・障害者雇用支援機構、中央職業能力開発協会、中央労働災害防止協会他21団体)
- 加入員 約26,000名(平成23年4月末現在)
- 受給者数 20,998名(平成23年3月末現在)

2 制度内容

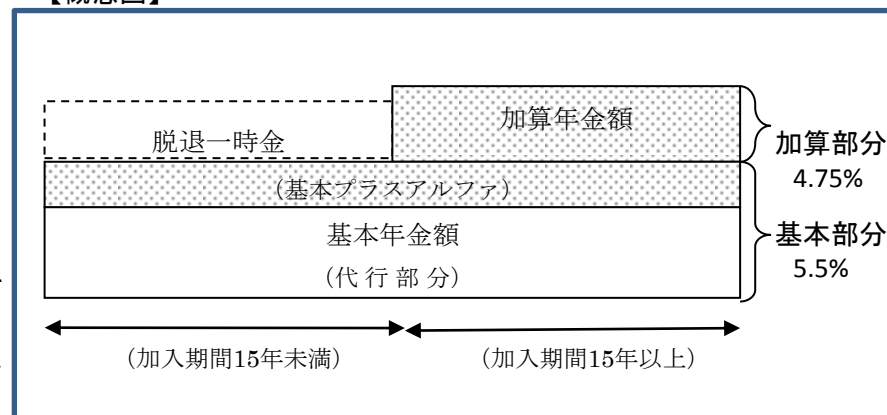
○ 基金の給付

- ・ 厚生年金の老齢給付の一部を代行し、これに基金独自の給付を加えて支給する仕組み。
- ・ 当給付は全加入員共通の「基本年金額」と、脱退時の加入期間に応じて支給される「加算年金額」(15年以上)または「脱退一時金」(15年未満)。

○ 予定利率

- ・ 企業年金制度における予定利率は、将来の給付額を現在価値に換算する「割引率」と、年金資産運用の「期待収益率」という二つの意味をもっているが、当基金では基本部分5.5%、加算部分4.75%。
- ・ 基本部分のうちの代行部分については、法令・通知に基づき厚生年金本体の運用利回り。

【概念図】



3 厚生年金基金の費用が増となった理由

- ・ サプライムローン破綻の影響として約24億円(発生総額約170億円、平成20~26年度までの每期均等償却)、世界的な金融・経済危機の影響として約25億円(発生総額約177億円、平成21~27年度)の合計約49億円が、平成21年度以降において費用の増要因として存在している。
- ・ なお、それぞれ発生の日から7年間に亘り每期均等償却として費用処理を行っている根拠は、独立行政法人会計基準に準拠して、当機構における平均残存勤務期間(7年)をもって費用処理を行っているものである。

(参考)

独立行政法人会計基準『第38 退職給付引当金の計上方法』(抜粋)

5 未認識数理計算上の差異とは、年金資産の期待運用収益と実際の運用収益との差異、退職給付債務の数理計算に用いた見積数値と実績との差異及び見積数値の変更等により発生した差異のうち、費用処理されていないものをいう。未認識数理計算上の差異は、平均残存勤務期間内の一定年数で均等償却することができる。」

「労災病院のガバナンス」

現状と問題点・課題

現状と問題点

- (独)労働者健康福祉機構は、労災病院事業以外に、未払賃金立替払事業等の労働施策を実施。
病院事業以外は、収支相応が全く見込めず、運営手法も異なるが、財務諸表が法人単位で一本化されているため、病院事業の経営内容が見えにくい。
- 現在、労災病院グループにおいては、共通経費(内部負担金)が不存在
 - ・ 本部人件費、労災看護学校の運営などのグループ共通経費を、国費(運営費交付金)で措置している。

課題等



- 病院事業を抜き出した財務諸表の作成などによる病院事業の経営内容の「透明化」と、それに基づく経営管理
- 労災病院グループ内における共通経費の計上(国の予算の縮減)
 - ・ 間接部門(人件費、本部借料等)の経費削減
- 政策医療や経営改革を推進するための本部と病院の役割分担

第3回検討会宿題事項

- 労災患者と一般患者の医業損益の比較（入院）
- 労災患者数の推移（平成20～22年度）
- 労災病院における「重症心身障害」等の取組

第3回検討会宿題事項(続き)

労災と一般患者の医業損益の比較 (入院)

○労災医療は、一般医療よりも平均在院日数が長いこと等により診療単価も低いため、一般医療よりも収支率が悪くなっている。
○じん肺・せき損の入院患者の例は下記のとおりである。

北海道中央労災病院における労災医療（じん肺）と一般医療の医業損益（入院）比較

区 分		1日平均患者数 (人)	1人1日当たり 診療単価(円)	平均在院日数 (日)	医業収益(※1) (百万円) ①	医業費用(※2) (百万円) ②	医業損益(百万円) (①-②)	医業収支率(%) ①÷②×100
入 院	労災医療	36.3	32,908	31.4	445	476	△ 31	93.5
	じん肺	32.4	28,436	30.6	345	373	△ 29	92.3
	一般医療	223.3	38,243	18.3	3,169	3,058	111	103.6
	合計	259.6	37,498	20.0	3,614	3,534	81	102.3

北海道中央労災病院せき損センターにおける労災医療（せき損）と一般医療の医業損益（入院）比較

区 分		1日平均患者数 (人)	1人1日当たり 診療単価(円)	平均在院日数 (日)	医業収益(※1) (百万円) ①	医業費用(※2) (百万円) ②	医業損益(百万円) (①-②)	医業収支率(%) ①÷②×100
入 院	労災医療	13.1	34,958	51.0	168	279	△ 111	60.4
	せき損	9.9	34,982	87.9	128	214	△ 87	59.5
	一般医療	115.1	39,817	18.3	1,686	1,821	△ 135	92.6
	合計	128.2	39,322	30.2	1,855	2,100	△ 245	88.3

※1 医業収益：入院診療収入＋その他収入（室料差額収入＋その他医業収益－保険等の査定減）

※2 医業費用：給与費＋材料費＋委託費＋設備関係費＋研究研修費＋経費

(注) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

第3回検討会宿題事項(続き)

労災患者数の推移 (平成20~22年度)

施設名	平成20年度							平成21年度							平成22年度							施設名
	入院			外来			合計	入院			外来			合計	入院			外来			合計	
	患者総数	労災患者数	労災比率	患者総数	労災患者数	労災比率		患者総数	労災患者数	労災比率	患者総数	労災患者数	労災比率		患者総数	労災患者数	労災比率	患者総数	労災患者数	労災比率		
人	人	%	人	人	%	%	人	人	%	人	人	%	%	人	人	%	人	人	%	%		
道央	96,009	14,788	15.4	180,894	19,103	10.6	12.2	94,738	13,235	14.0	174,244	19,416	11.1	12.1	94,817	13,196	13.9	168,439	18,253	10.8	11.9	道央
道央せき	45,785	4,848	10.6	116,391	9,311	8.0	8.7	46,794	4,794	10.2	107,728	8,364	7.8	8.5	46,699	4,503	9.6	109,088	7,873	7.2	7.9	道央せき
釧路	134,823	4,429	3.3	253,871	17,515	6.9	5.6	136,468	4,201	3.1	249,890	17,267	6.9	5.6	136,202	4,777	3.5	248,510	15,934	6.4	5.4	釧路
青森	126,994	2,874	2.3	227,852	5,539	2.4	2.4	114,199	3,083	2.7	208,504	4,779	2.3	2.4	110,982	4,324	3.9	198,170	5,641	2.8	3.2	青森
東北	161,359	4,070	2.5	253,032	13,966	5.5	4.4	161,442	4,700	2.9	243,447	13,911	5.7	4.6	158,209	4,137	2.6	243,638	12,024	4.9	4.0	東北
秋田	69,292	3,329	4.8	99,445	3,517	3.5	4.1	61,803	1,923	3.1	92,341	4,034	4.4	3.9	61,302	863	1.4	84,061	3,099	3.7	2.7	秋田
福島	120,123	4,814	4.0	146,755	6,086	4.1	4.1	109,930	4,845	4.4	126,216	5,529	4.4	4.4	112,388	3,989	3.5	126,699	5,517	4.4	4.0	福島
鹿島	83,830	3,255	3.9	175,610	3,706	2.1	2.7	86,018	3,139	3.6	179,722	4,297	2.4	2.8	85,810	4,034	4.7	170,228	4,687	2.8	3.4	鹿島
千葉	125,546	3,218	2.6	272,270	11,953	4.4	3.8	128,138	2,347	1.8	266,670	11,108	4.2	3.4	130,791	2,961	2.3	259,297	8,894	3.4	3.0	千葉
東京	121,845	3,691	3.0	256,580	12,506	4.9	4.3	125,061	3,304	2.6	265,227	13,758	5.2	4.4	124,834	3,287	2.6	264,832	13,268	5.0	4.2	東京
関東	186,161	5,675	3.0	419,901	13,298	3.2	3.1	187,814	3,546	1.9	427,153	12,673	3.0	2.6	190,181	2,852	1.5	422,791	11,028	2.6	2.3	関東
横浜	208,452	2,709	1.3	449,572	24,384	5.4	4.1	207,777	2,423	1.2	448,904	22,002	4.9	3.7	208,651	3,134	1.5	445,703	17,718	4.0	3.2	横浜
燕	81,476	2,587	3.2	132,022	4,625	3.5	3.4	78,772	2,384	3.0	125,624	5,407	4.3	3.8	82,066	4,027	4.9	123,662	5,457	4.4	4.6	燕
新潟	106,122	4,563	4.3	162,388	5,668	3.5	3.8	107,479	3,090	2.9	165,830	5,529	3.3	3.2	102,983	3,242	3.1	158,515	3,710	2.3	2.7	新潟
富山	80,067	3,266	4.1	143,507	8,638	6.0	5.3	86,352	4,485	5.2	149,292	9,291	6.2	5.8	85,485	4,570	5.3	148,276	9,141	6.2	5.9	富山
浜松	93,284	2,190	2.3	169,049	6,617	3.9	3.4	86,293	1,705	2.0	156,442	5,377	3.4	2.9	91,451	1,831	2.0	144,076	5,290	3.7	3.0	浜松
中部	172,880	5,652	3.3	375,203	22,622	6.0	5.2	173,829	4,970	2.9	375,749	26,702	7.1	5.8	171,414	4,702	2.7	374,077	27,213	7.3	5.9	中部
旭	75,279	4,225	5.6	176,799	10,571	6.0	5.9	76,304	3,788	5.0	180,154	11,030	6.1	5.8	76,278	2,644	3.5	180,454	10,144	5.6	5.0	旭
大阪	217,038	1,698	0.8	381,346	10,661	2.8	2.1	214,368	1,946	0.9	377,233	11,075	2.9	2.2	217,861	2,765	1.3	374,464	9,585	2.6	2.1	大阪
関西	183,140	2,453	1.3	341,371	15,373	4.5	3.4	187,361	2,134	1.1	341,168	14,182	4.2	3.1	186,887	1,970	1.1	297,299	13,584	4.6	3.2	関西
神戸	106,061	2,577	2.4	189,542	5,710	3.0	2.8	106,341	2,418	2.3	184,878	5,676	3.1	2.8	107,723	1,424	1.3	183,972	4,520	2.5	2.0	神戸
和歌山	104,390	1,082	1.0	223,889	4,488	2.0	1.7	99,607	1,044	1.0	233,070	4,430	1.9	1.6	101,548	998	1.0	235,608	3,852	1.6	1.4	和歌山
山陰	117,027	1,515	1.3	222,964	9,051	4.1	3.1	116,821	1,282	1.1	187,398	7,448	4.0	2.9	116,455	1,728	1.5	183,308	7,866	4.3	3.2	山陰
岡山	113,039	10,006	8.9	191,806	12,612	6.6	7.4	113,288	8,171	7.2	194,142	12,166	6.3	6.6	113,981	7,416	6.5	196,278	12,369	6.3	6.4	岡山
中国	131,850	2,993	2.3	296,466	15,783	5.3	4.4	131,838	3,815	2.9	288,304	14,345	5.0	4.3	133,044	3,274	2.5	282,806	15,248	5.4	4.5	中国
山口	99,469	3,399	3.4	192,250	9,123	4.7	4.3	101,297	3,661	3.6	165,616	6,399	3.9	3.8	101,221	2,735	2.7	158,948	6,515	4.1	3.6	山口
香川	133,882	5,299	4.0	270,008	41,452	15.4	11.6	131,655	3,663	2.8	263,115	39,665	15.1	11.0	132,508	2,865	2.2	261,447	41,995	16.1	11.4	香川
愛媛	78,700	3,673	4.7	162,527	10,899	6.7	6.0	70,059	3,602	5.1	149,866	11,217	7.5	6.7	65,329	2,929	4.5	133,744	11,304	8.5	7.1	愛媛
九州	177,956	6,995	3.9	162,030	6,927	4.3	4.1	166,966	5,205	3.1	164,865	6,762	4.1	3.6	169,536	5,058	3.0	170,906	7,270	4.3	3.6	九州
門司	60,081	1,331	2.2	100,614	2,174	2.2	2.2	66,202	1,537	2.3	113,346	2,228	2.0	2.1	68,806	1,272	1.8	117,161	2,299	2.0	1.9	門司
長崎	111,571	4,557	4.1	128,305	5,757	4.5	4.3	109,961	4,398	4.0	124,794	5,454	4.4	4.2	107,892	4,813	4.5	115,573	5,555	4.8	4.6	長崎
熊本	132,528	2,656	2.0	161,194	7,083	4.4	3.3	135,059	2,457	1.8	162,287	7,696	4.7	3.4	135,026	2,503	1.9	158,660	6,737	4.2	3.1	熊本
労災病院計	3,856,059	130,417	3.4	7,035,453	356,718	5.1	4.5	3,820,034	117,295	3.1	6,893,219	349,217	5.1	4.4	3,828,360	114,823	3.0	6,740,690	333,590	4.9	4.2	労災病院計

※ 平成12年度以降、長期的には患者数は減少傾向にあるものの、患者総数に占める労災患者の割合は4%台で推移している。

第3回検討会宿題事項（続き）

労災病院における「重症心身障害」等の取組

- | | | |
|------------------------|---|---------------------|
| ①「重症心身障害」分野 | → | 該当する施設・病床はない。 |
| ②「筋ジストロフィー」分野 | → | 該当する専門病院・専門病床はない。 |
| ③「結核」分野 | → | 専門病床12床（北海道中央労災病院）。 |
| ④「心神喪失者等医療観察法に基づく入院」分野 | → | 指定入院医療機関・病床はない。 |

		国立病院機構	労働者健康福祉機構	全国
①重症心身障害	施設数	73 施設	—	191 施設
	病床数	7,381 床	—	19,224 床
	入院患者数	7,377 人	—	18,606 人
②筋ジストロフィー	専門病院数	26 施設	—	28 施設
	病床数	2,280 床	—	2,386 床
③結核	結核病床数	3,414 床	12 床	8,924 床
	年間在院患者延数	541,153 人	1,538 人	1,191,960 人
④心神喪失者等医療観察法に基づく入	指定入院医療機関数	14 施設	—	26 施設
	病床数	412 床	—	616 床

※1 国立病院機構及び全国の数値は、第2回検討会資料による。

※2 「③結核」の「年間在院患者延数」は、北海道中央労災病院の結核病床(12床)の年間在院患者延数である。